

## 文化・芸術

### 《名画の扉》

大川美術館企画展「桐生のアーティスト2023 KIRYU Days—昨日の明日、そしてこれから」から

藤井宜人さんは1983年桐生市生まれ。2007年明星大学造形芸術学科洋画専攻卒業後、ドイツのフィリップス・マールブルク大学に交換留学。13年、家業の電器店の仕事をしながら、桐生市本町一丁目に「アートをつくる人と見る人との新たな出合いの場所」としてPENSEEGALLERY（パンセギャラリー）を設立。自身も作家活動が続いています。近年は、光と影をテーマに制作を続けてきました。異なる質感を宿す長

方形のキャンバスが点在する空間には、彼が捉えるさまざまな女性のイメージが投影されています。絵の具層とイメージとの距離感をはかりつつ塗り重ねられた画面に囲まれて立つと、ここからまた新たな気配が想起されてきます。女性のポートレートが常に更新を繰り返すという時間の経過が、その筆触を通じて意識にのぼってくるようです。（小此木）

※14日（土）午後2時から展示室で藤井さんのアーティストトークを開催します。

### 藤井宜人（1983年）

spatial distance  
ce（女性のポートレートⅡ）

2023年、インスタレーション  
サイズ可変（作者蔵）

